

半盲・視野障害でみつかる脳腫瘍

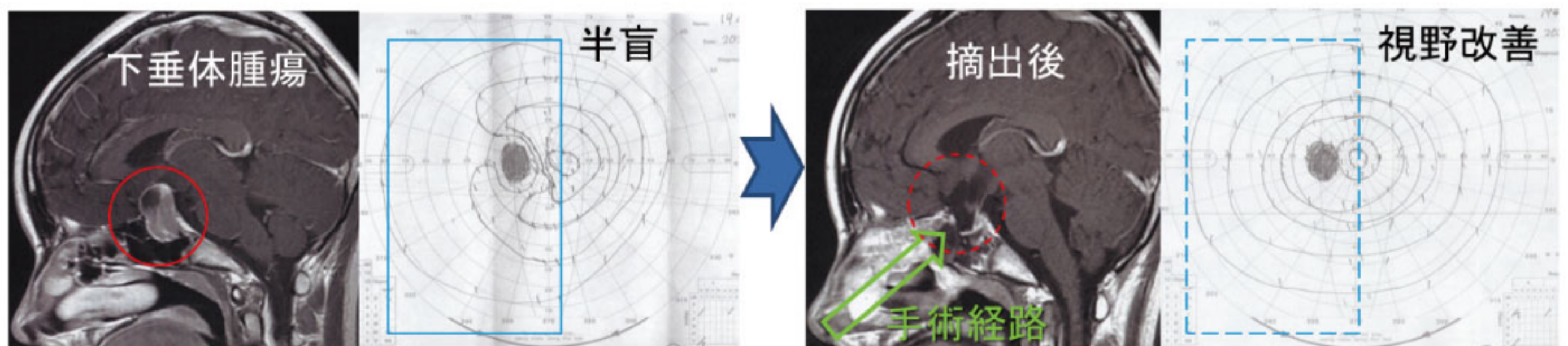
脳神経外科部長 西岡 利和

“目の見え方がおかしいので眼科を受診したら脳外科へ紹介された”そんな患者さんに時として遭遇します。地域連携の診療所・クリニックetcから当院脳外科へ紹介いただく中で5～6%が眼科病院からの紹介です。そして脳下垂体腫瘍がみつかって脳外科手術をうける事となるケースが少なからず存在します。脳の周囲には目・耳・鼻といった五感にたずさわる器官があり眼科・耳鼻科といった問題か?と先ずそちらの受診とされ、最終的に脳に問題がある事が判明する事があります。このうち視野(見える範囲)に影響する腫瘍として下垂体腫瘍があげられ、脳腫瘍全体の約1/6は下垂体腫瘍が占めるとされています。

そもそも下垂体とは脳の底にぶら下がったかたちで(下垂して)存在するホルモンを分泌する器官ですが、これがちょうど視神経の走行する下部に位置しています。この下垂体が腫瘍化して大きくなり周囲へ圧迫をきたすと障害を受けやすいのが視神経です。視神経の下部中央から圧排を受ける事になるのでその神経圧迫障害の領域に一致した視野両方の外側(顔の耳側となる)の視野障害として両耳側半盲(両方の外側の見えにくさ)を呈することが多のです。外側から視野が障害されてきていけば、この下垂体障害が疑われるという事にもなります。

こういった下垂体腫瘍に対して当院では経鼻内視鏡的経蝶形骨洞手術(EETSS)を行っています。上述したように下垂体は脳の底に位置し、これが鼻腔の奥にも一致します。鼻腔の奥に蝶形骨洞という副鼻腔(一般に蓄膿で知られる鼻腔に繋がる空洞)が存在します。鼻腔から蝶形骨洞(副鼻腔の一部)を介し頭蓋底に達し、ここから下垂体腫瘍にアプローチし腫瘍摘出していきます。内視鏡という細長いカメラで腫瘍近傍からの画像をモニターに映し腫瘍とその周囲構造を詳細に確認しつつ手術がすすめられます。これによりこれまでの手技では見にくかった腫瘍までも安全に操作が可能となっています。また脳腫瘍というと開頭(頭皮を切り頭蓋をあけ)し外観からもわかる目立った傷になる事に抵抗を感じられる方がおられると思いますが、この経鼻手術では鼻腔内での切開だけなので術後の外観(見ため)の問題もなく患者さんの負担は軽くなります。この手術の目的は減圧にあり、脳の底から腫瘍を掻き出し吸い取って視神経への圧排が解除されれば少ない負担で視野の改善が得られるのです。

“見えかたの問題があれば先ず眼科受診”は当然の流れですが、視野の狭さがあれば早めに脳もチェックしてもらいましょう。



HCUは「High Care Unit」の頭文字をとったものであり、日本語では「高度治療室」や「準集中治療管理室」と訳され、ICU（集中治療室）と一般病棟の中間に位置するとされています。

当院では脳卒中をはじめ、未破裂動脈瘤、脳腫瘍、頸・脊椎疾患の手術後など重症度の高い患者さんが入室されます。患者さんは頭や首・腰に管が入っていたり、点滴がつながっていたり、モニターなど様々な医療機器が付いていたためいつも通りの生活が送れません。その中で全身管理はもちろんのこと、口腔ケアや洗髪・手足浴などベッド上で行えるケアを患者さんの状態に合

わせて行っています。家族さんも行ってほしいケア、こんな事できるかな…と思った事などは遠慮せずにお聞かせください。

HCUは一般病棟と比べて重症度が高いですが、患者さん一人一人に向き合う時間が長いというメリットもあります。これからも患者さんが少しでも安全・安楽に過ごせるように心がけていきたいです。



乾電池の安全使用について

臨床工学科 臨床工学技士 細江 将之

臨床工学技士という仕事をご存じでしょうか？

病院では様々な医療機器を使用し患者様の治療を行います。医療機器を安全に使用できるように点検や管理をするのが臨床工学技士の仕事です。

今回は病院でもご家庭でも使用する機会が多い乾電池の

【使用・保管方法】と【液漏れ現象】についてご紹介させていただきます。

使用・保管方法

同じメーカーの製品・規格を揃え、通常の乾電池と充電式乾電池を併用しないようにしましょう。また使用推奨期限を守り、高温多湿をさけて保管しましょう。

保管中も自然放電が起きるため、セロハンテープなどを電極に貼り、「+、-」を絶縁状態にしておくことをオススメします。(図1)

また長時間使用しない場合は、電源ソケットから乾電池を抜いておく事も自然放電防止効果があります。

液漏れ現象 (図2)

電池の液漏れは、電池が破裂するのを防ぐための安全機構です。

析出物(白くザラザラした結晶)は強アルカリ性で、手に触れたり目や口に入ってしまうと化学熱傷や頭痛嘔吐などの可能性があり非常に危険です。

発見したら結晶が手に触れぬよう、ビニール袋などに入れ、自治体の処分方法に従って廃棄して下さい。

ご家庭にある乾電池「お手入れ・有効活用」の一助となれば幸いです。

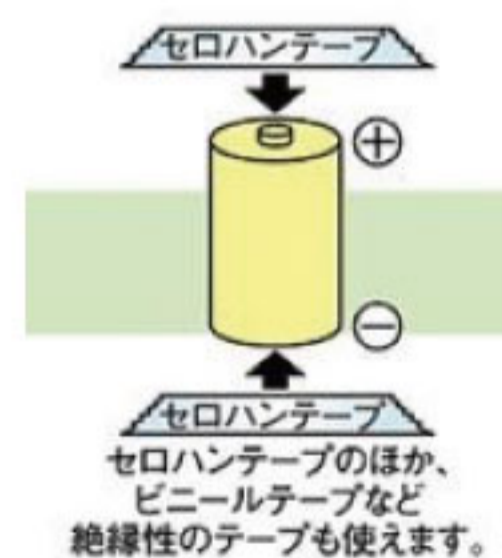


図1 自然放電の防止



図2 液漏れ現象



ながつき

長月

暑さが少しずつおさまり、秋空にコスモス、ススキ、彼岸花が映えます。「夜長月」が変化した「長月」。澄みきった夜空に、虫の音が響きます。

十四節気

処暑

しよしよ

9/2～6(第四十二候) 禾乃登 / こくものすなわちみのる

9/1のお話を。この日は季節の変わり目雑節の「二百十日」にあたり、台風や大雨など起こりやすい厄日。風を鎮め、豊作を願う「越中おわら節」は9/1～9/3に。二百十日の強風は1923年9月1日も吹き荒れ、関東大震災は火災により亡くなった方が9割に上るそうです。



十五節気

白露

はくろ

残暑が残りますが、「小さな秋」が♪
に「小さな秋」が♪

9/7～11(第四十三候) 草露白 / くさのつゆしろし

草木の葉先に光る露、秋の訪れを感じます。秋の七草の筆頭「萩」、7～10月に日本全国で、秋の風情を漂よわせます。万葉集で一番読まれているのは「萩」。萩と鹿の組み合わせが好まれました。



9/12～17(第四十四候) 鵲鳩鳴 / せきれいなく

人の身近で生活するせきれいが鳴き始める頃です。老人を敬愛し、長寿を祝う日「敬老の日」。2001年から、9月第3週月曜日と定められ、祝日法改正により連休になるよう年により変わります。ちなみに兵庫県多可郡で発案された「としよりの日」がきっかけとなりました。



9/18～22(第四十五候) 玄鳥去 / つばめさる

元気に飛ぶつばめたちが数千キロを飛び南方へ帰ります。仏教の「万物の生命をいつくしみ、殺生を戒め、実りに感謝する」お祭り「放生会」が八幡宮寺社で行われます。境内に鯉、カメが暮らす「放生池」はその名残りです。



十六節気

秋分

しゅうぶん

秋のお彼岸。真西に沈む夕日に、手を合わせる秋分の日。遠く故人を思います。

9/23～27(第四十六候) 雷乃収声 / かみなりすなわちこえをおさむ

雷も聞こえなくなり、秋の空が広がります。その名も美しい「秋明菊(しゅうめいぎく)」。京都の貴船にたくさん自生していたので「貴船菊」とも。菊の仲間ではなく、アネモネと同じキンポウゲ科で英名は「ジャパニーズ・アネモネ」です。屋上庭園にも咲いています。



9/28～10/2(第四十七候) 蟄虫坏戸 / むしかくれてとをふさぐ

小さな虫たちが冬に備え冬ごもりの準備を始める頃です。9(くる)月30(みはまるい)日=「クルミは丸い」の語呂合わせで「くるみの日」だそうです。日本人がもっとも古くから食べてきたナッツくるみ。オメガ3系脂肪酸を多く含み、生活習慣病リスクを下げる働きが!



梨(なし) 梨物語その1

バラ科 ナシ属、落葉高木

初秋の味覚「梨」。シャキシャキとした歯ごたえ、瑞々しい甘さが人気です。「梨」は、弥生時代の遺跡からも種が見つかり、日本固有です。これが「和梨」で他に「中国梨」「洋梨」に分類されます。今はほとんど見かけない「長十郎」という品種。なつかしいですね♪1889年頃、全国の梨に黒斑病が流行し壊滅的な被害が出た時に、東京多摩川地域で、一本だけ大粒の実がなっているのを発見。これが甘みも強く病気にも強い「長十郎」の誕生です。その後1897年にも黒斑病が…。やはり「長十郎」は被害が少なかったことから全国的に注目され、1970年代頃までは、生産される「9割」程が「長十郎」という時代が続きました。 つづく^_^



外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	—
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	—
2診	午前	高橋	砂田	角田	前岡	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊椎・脊髄外来 山本	角田	前岡	脊椎・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	金光
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	金光
6診	午前	—	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	—	神経内科 小坂田
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	神経内科 小坂田〈FUS〉	脊椎・脊髄外来 山本	第4週 てんかん 田村 第1・3週 神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	—

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 ※毎週金曜日13:00~ 7診 麻酔科 鈴木 (2021.9)

連携協力医療機関のご紹介(No.230)

大山皮膚科形成外科

院長:大山 知樹



【認定資格・所属学会・専門医】形成外科学会認定専門医、医学博士(大阪大学)

【診療科目】皮膚科、形成外科

【住所】明石市朝霧南町2-181-8 あおばビル4F

【電話】078-918-4112



大山院長からのメッセージ

皮膚のことなら何でもご相談ください。できもの、いぼ、ほくろ、あざ、しみ、美容相談も承ります。

連携協力医療機関のご紹介(No.231)

にった整形外科クリニック

院長:仁田 史人



【認定資格・所属学会・専門医】日本整形外科学会整形外科専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

【診療科目】整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

【住所】神戸市西区伊川谷町有瀬1052-4

【電話】078-978-1350



仁田院長からのメッセージ

脊椎を専門としています。特に腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなどで困っている患者様は、一度受診してみてください。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	/	○	○	/

休診日:水曜午後、土曜午後、日祝

公式LINE



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘

ホームページ

